

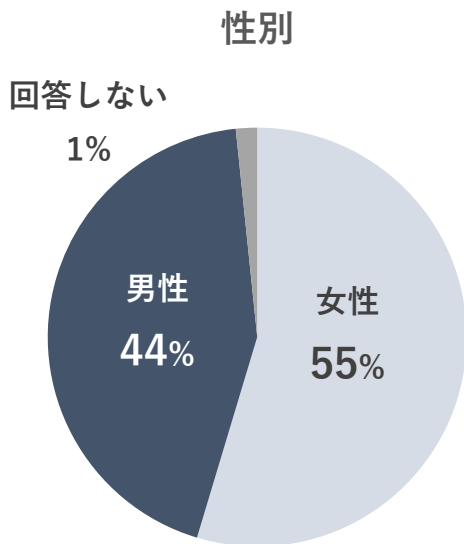
## 中心市街地に関するアンケート（居住者）集計結果（詳細）

中心市街地の居住者等の消費動向や必要な都市機能を把握し、今年度策定予定の中心市街地のまちづくりに関するビジョン、並びに、令和5年度策定予定の第4期八戸市中心市街地活性化基本計画の検討にあたっての参考にするため、アンケートを実施したものの。

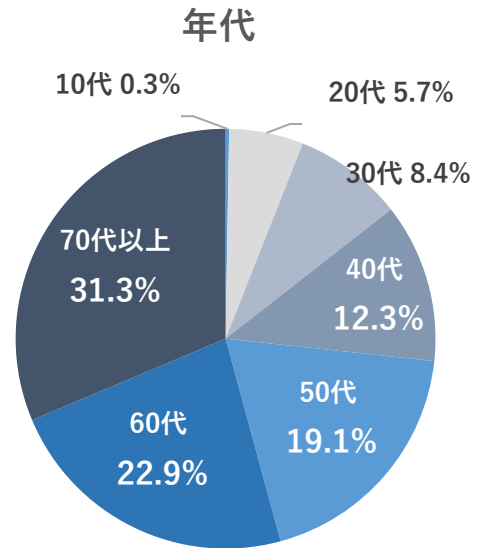
- 実施時期：令和4年10月28日(金)～11月14日(月)
- 対象者：中心市街地居住者で満18歳以上の862人（572世帯）を無作為に抽出
- 回答数：370
- 回答率：42.9%
- ※無回答を除いて集計しており、「n」はアンケート回答総数を示しています。  
複数回答の場合、回答の比率が100%を超える場合があります。

### 1.基礎情報について

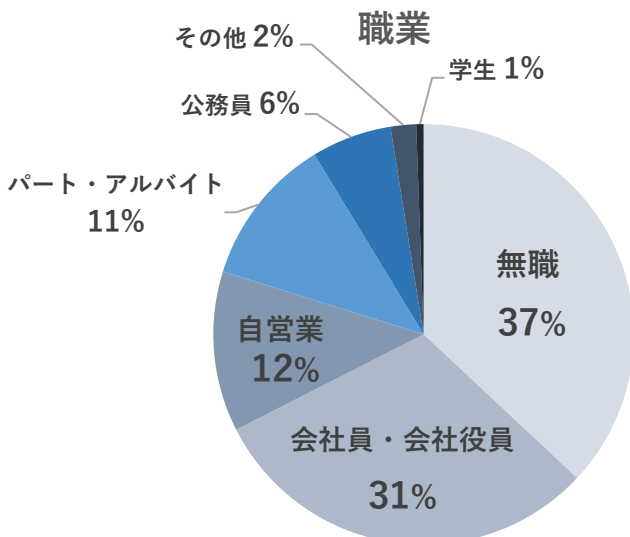
(1)性別（n 366）



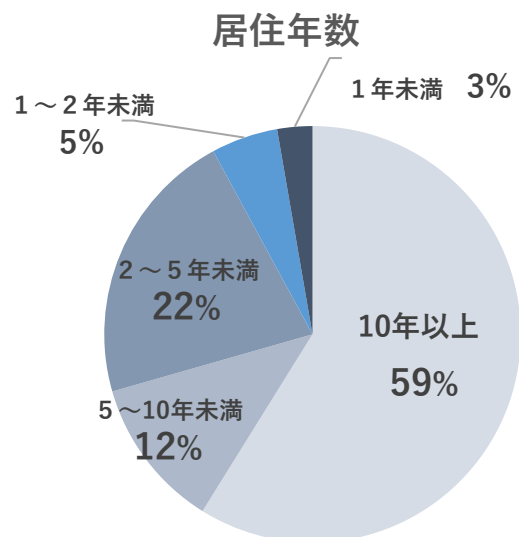
(2)年代（n 367）



(3)職業（n 357）

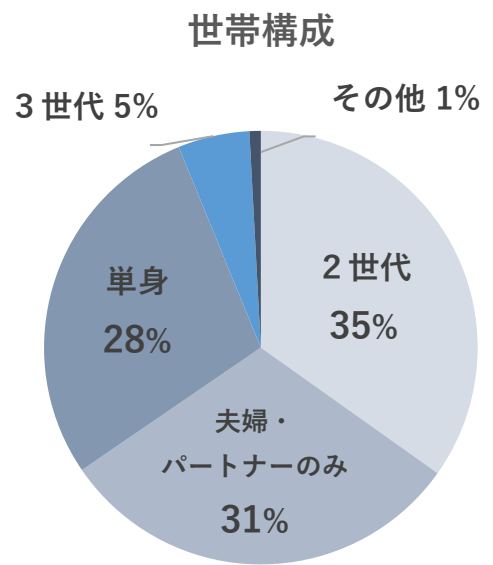
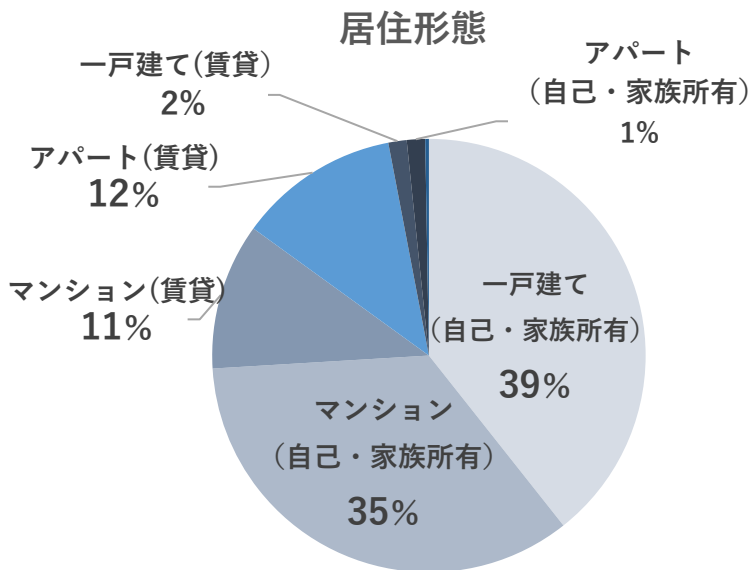


(4)居住年数（n 367）



(5) 居住形態 (n 366)

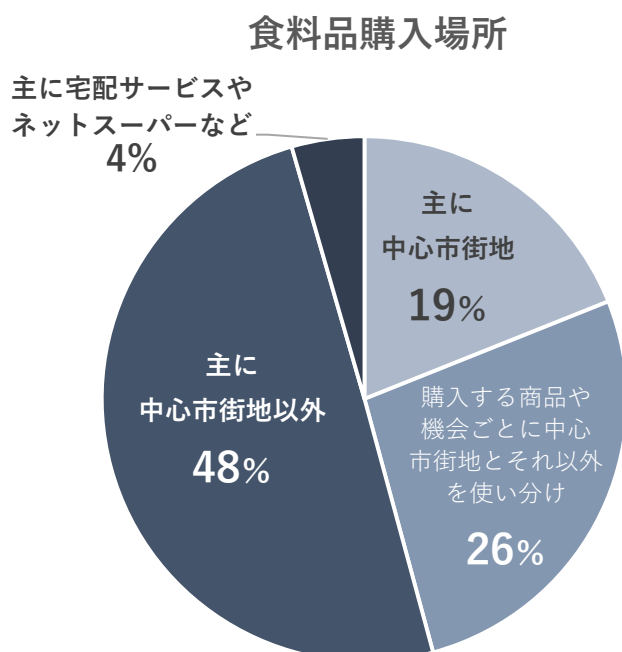
(6) 世帯構成 (n 356)



## 2. 普段のお買い物や行動について

以下の商品を購入する際の購入先やその店舗をよく使う理由等について

(1) 「食料品」の主な購入先 (n 391)



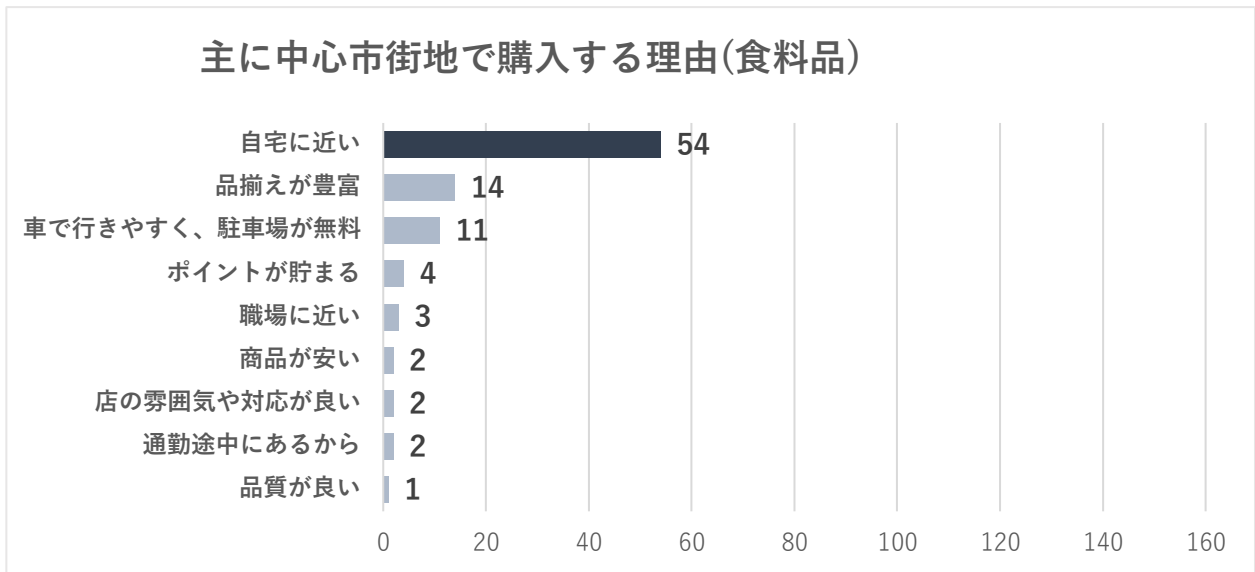
中心市街地で買物する方

**45%**

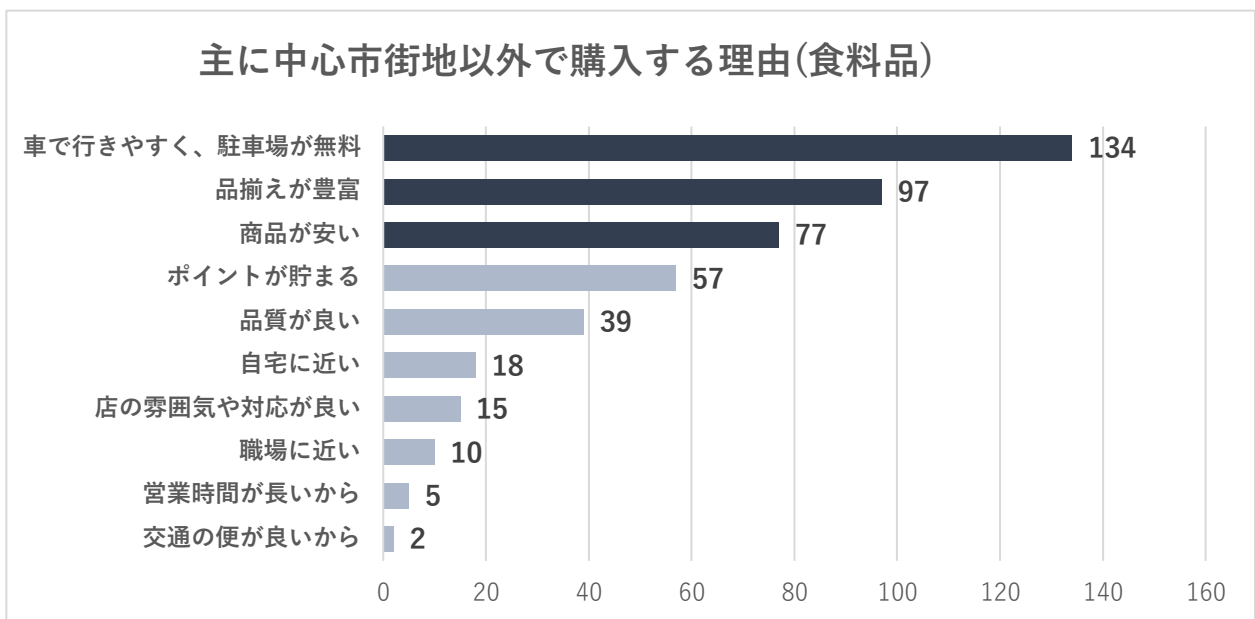
※主に中心市街地と購入する商品や機会ごとに中心市街地とそれ以外を使い分けている方の合計

(2)(1)の「食料品」の店舗等をよく使う理由 ※複数回答可。

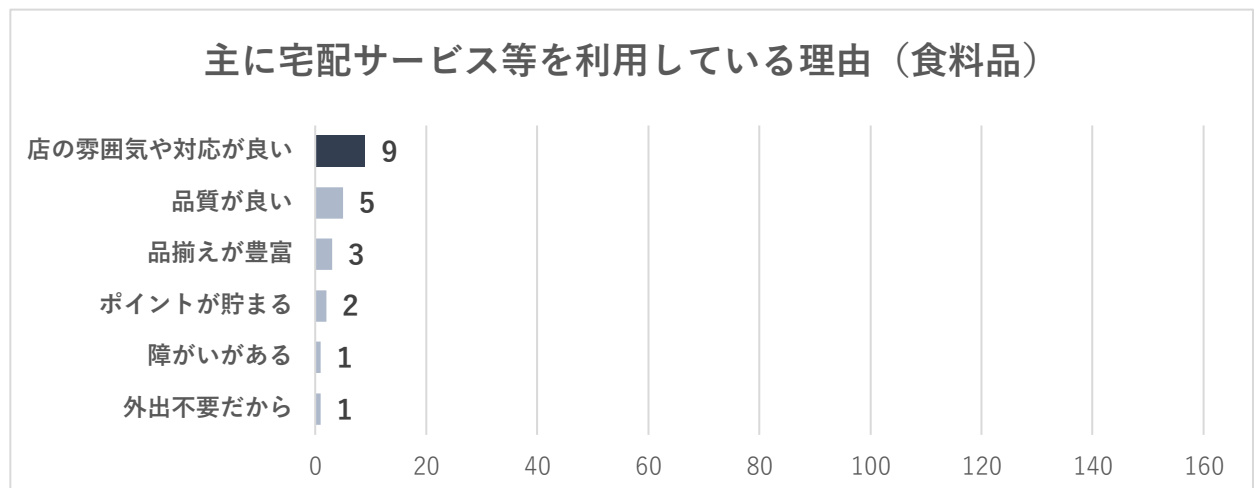
○主に中心市街地で購入している方 (n93)



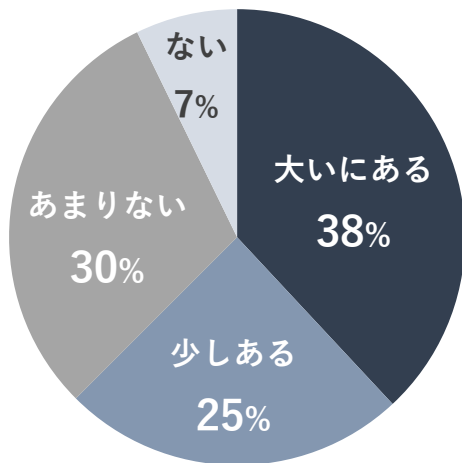
○主に中心市街地以外で購入している方 (n454)



○主に宅配サービス等を利用している方 (n21)



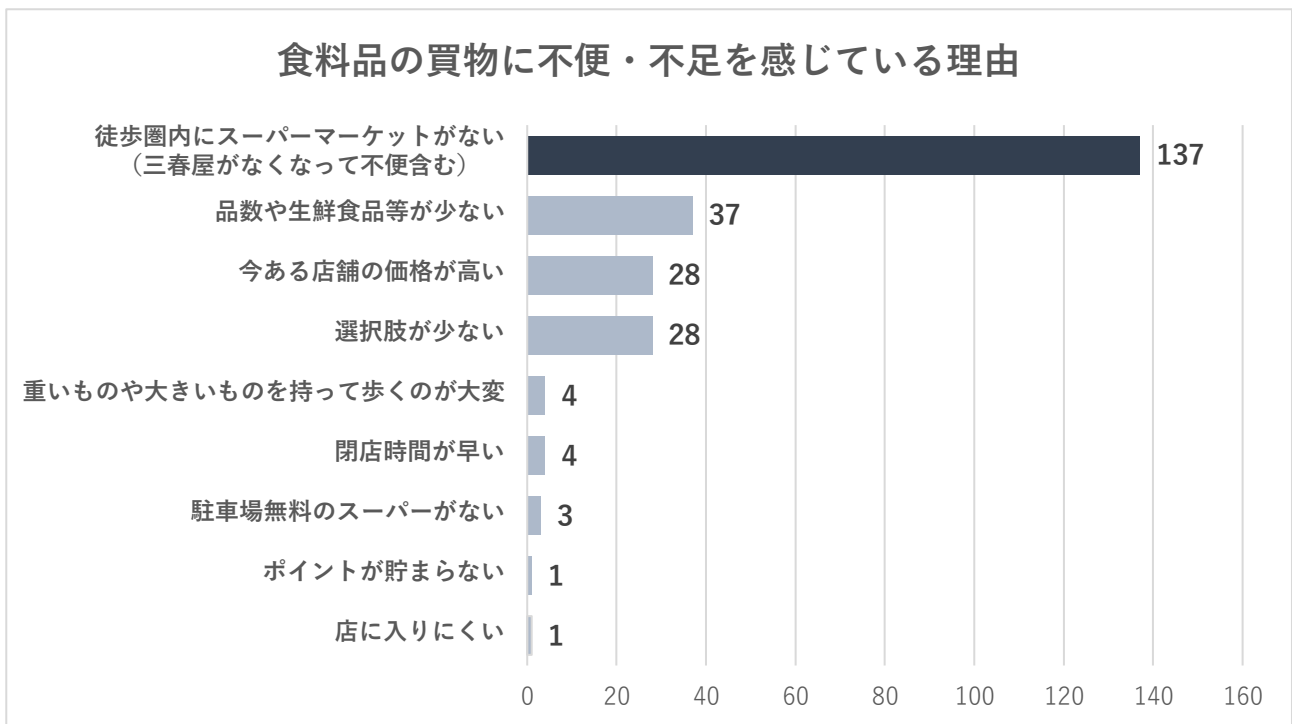
(3)現状の「食料品」の買物環境に不便・不足があるか。(n 360)



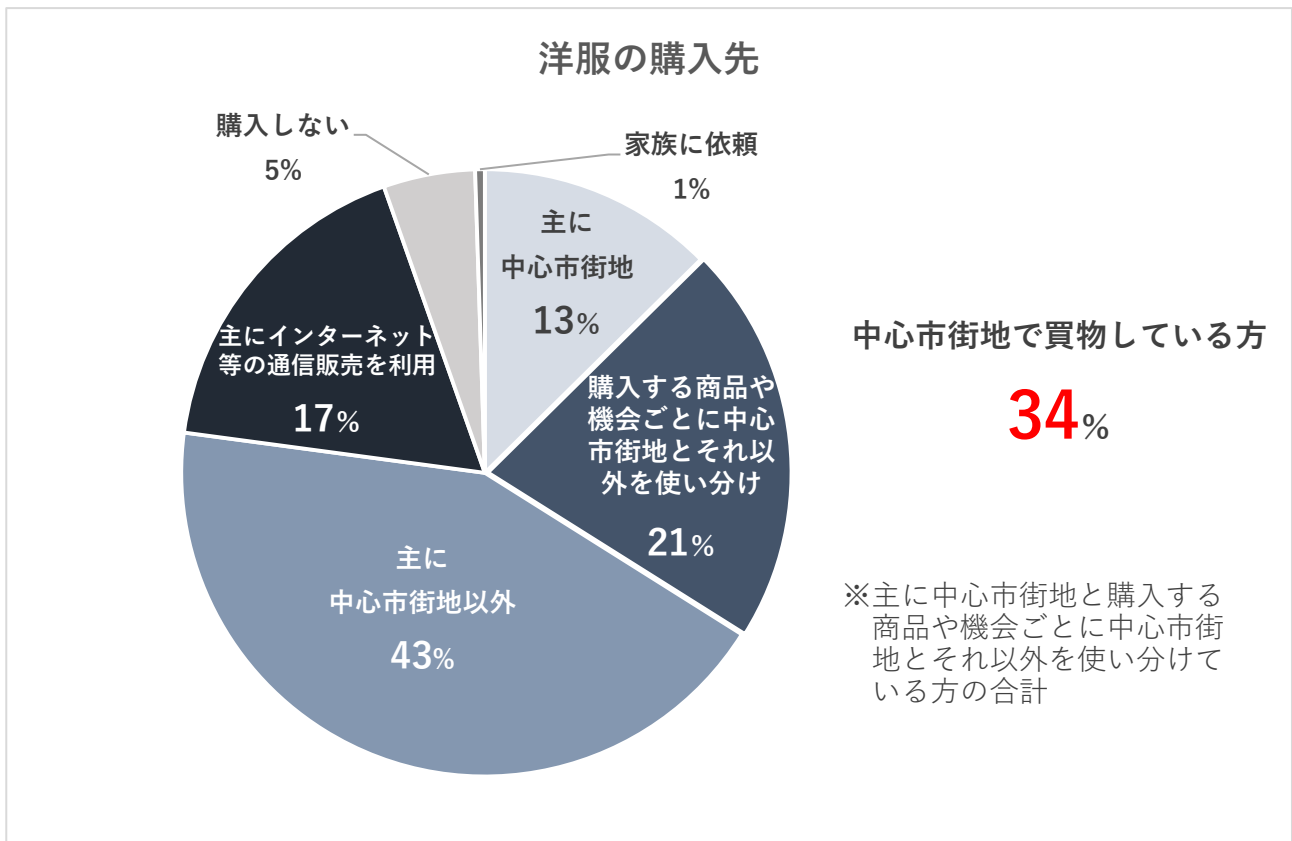
あると回答した方

**63%**

(4)(3)で「大いにある」「少しある」と回答した方の主な理由 (n 243)

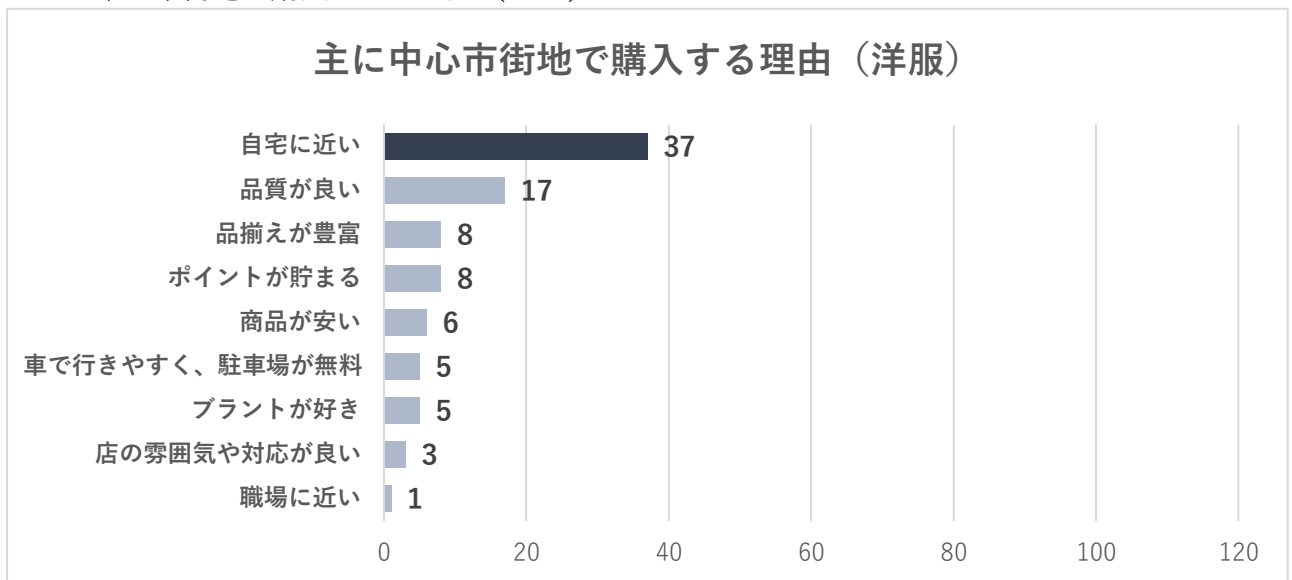


(5) 「洋服」の主な購入先について (n 389)

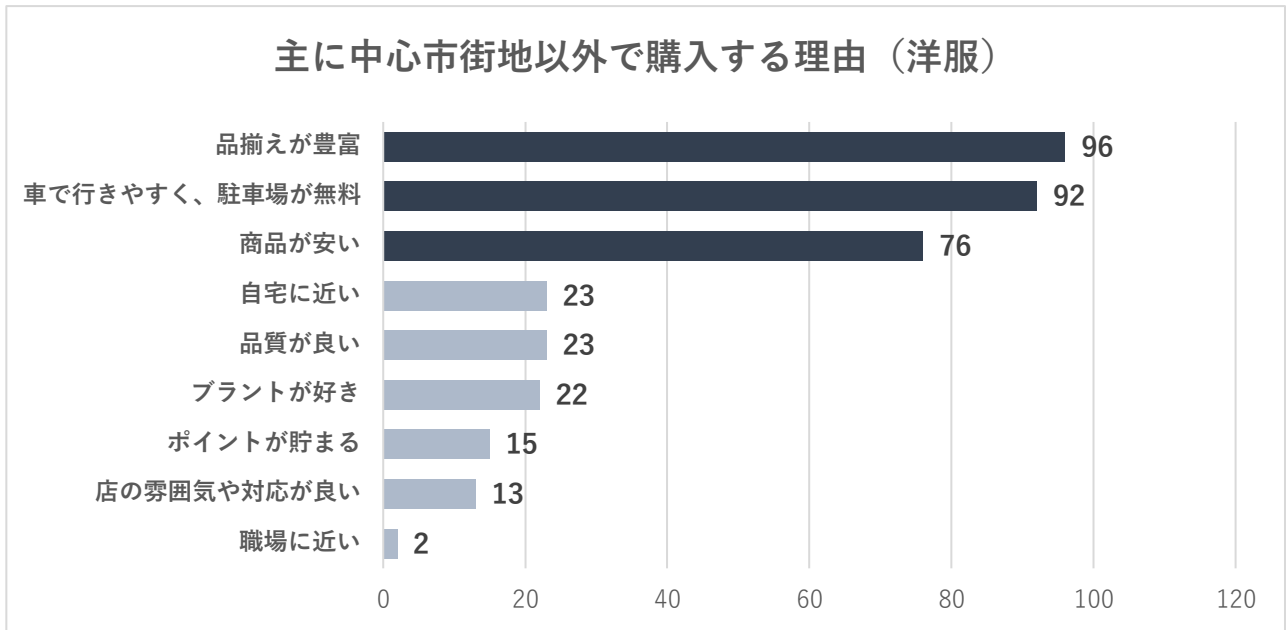


(6) (5)の「洋服」の店舗等をよく使う理由 ※複数回答可。

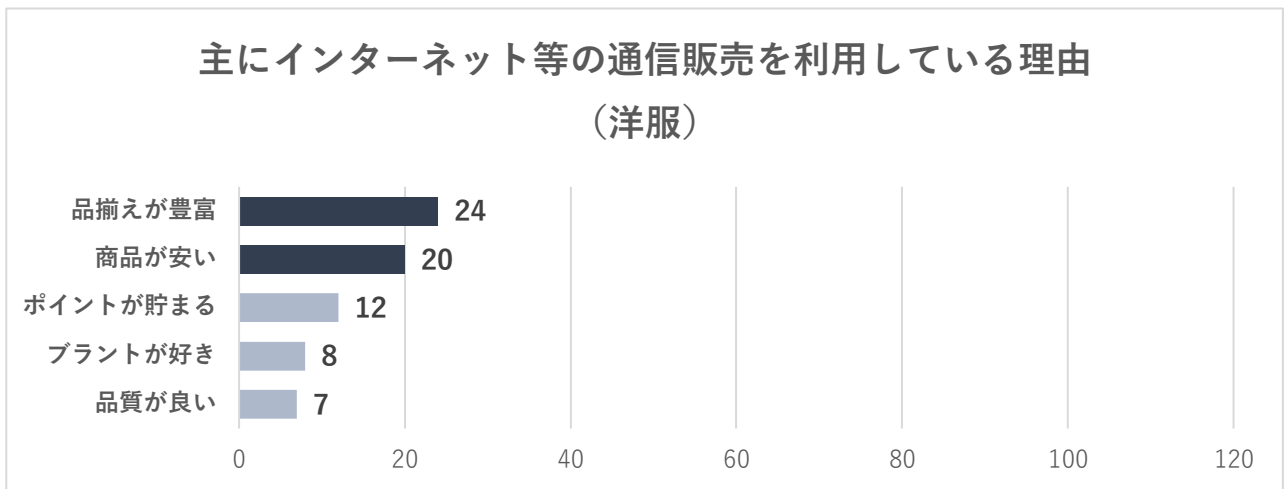
○主に中心市街地で購入している方 (n 90)



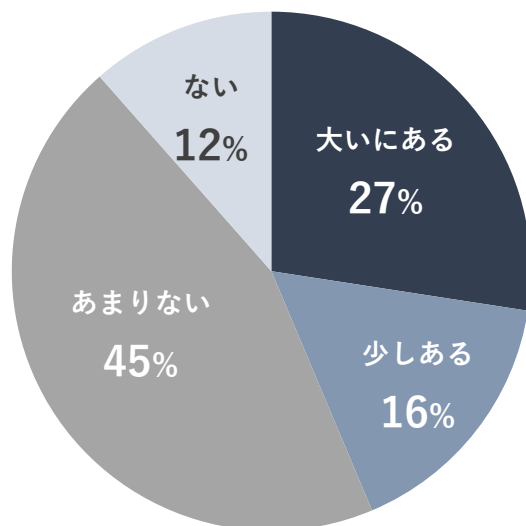
○主に中心市街地以外で購入している方（n 362）



○主に宅配サービス等を利用している方（n 71）



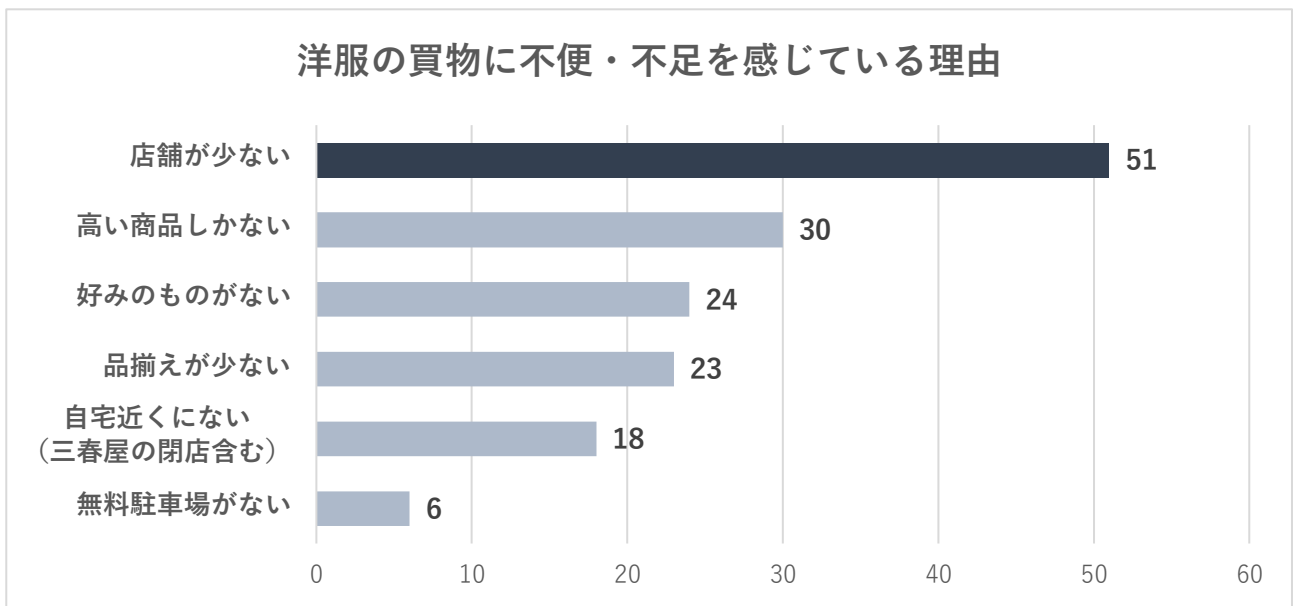
(7)現状の「洋服」の買物環境に不便・不足があるか。（n 339）



あると回答した方

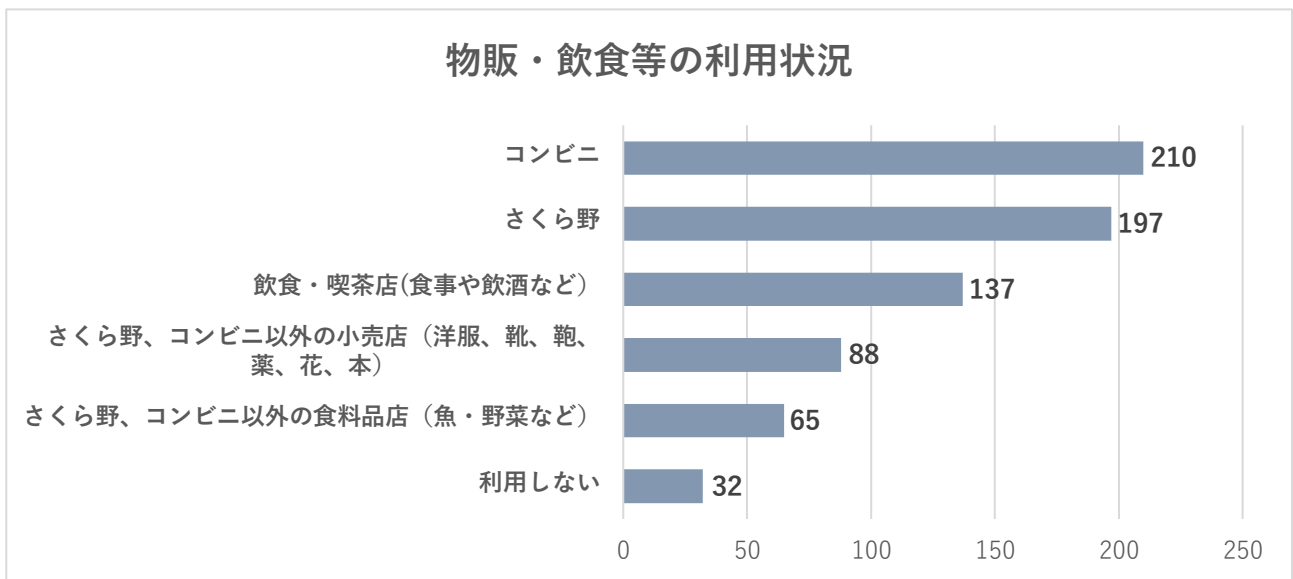
**43%**

(8) (7)で「大いにある」「少しある」と回答した方の主な理由 (n 152)



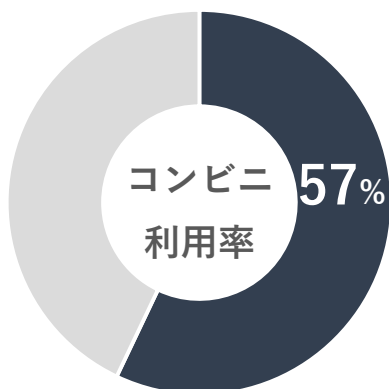
### 3. 中心市街地で利用される場所等について ※複数回答可。

(1)物販・飲食等の利用状況 (n 729)

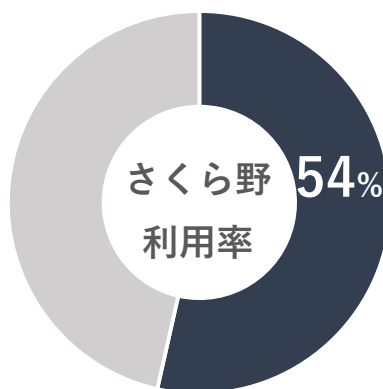


※回答数 n 368 に対する割合

○コンビニ

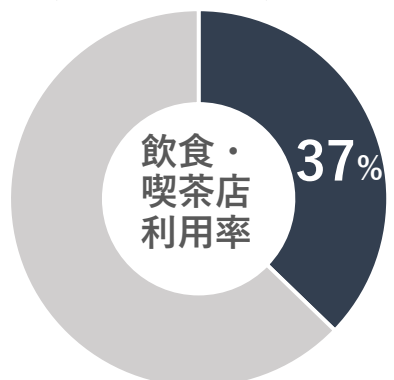


○さくら野

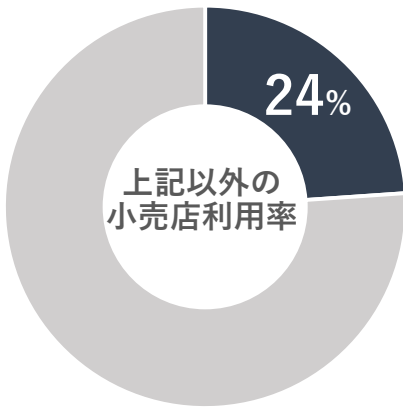


○飲食・喫茶店

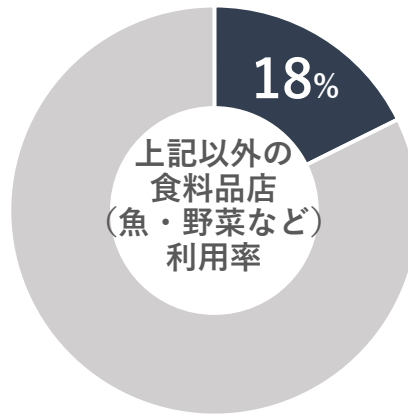
(食事や飲酒など)



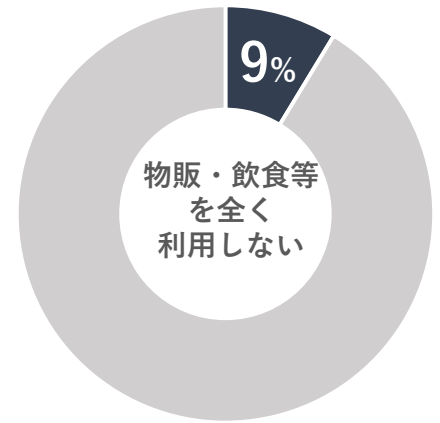
○上記以外の小売店  
(洋服、靴、鞆、薬、花、本)



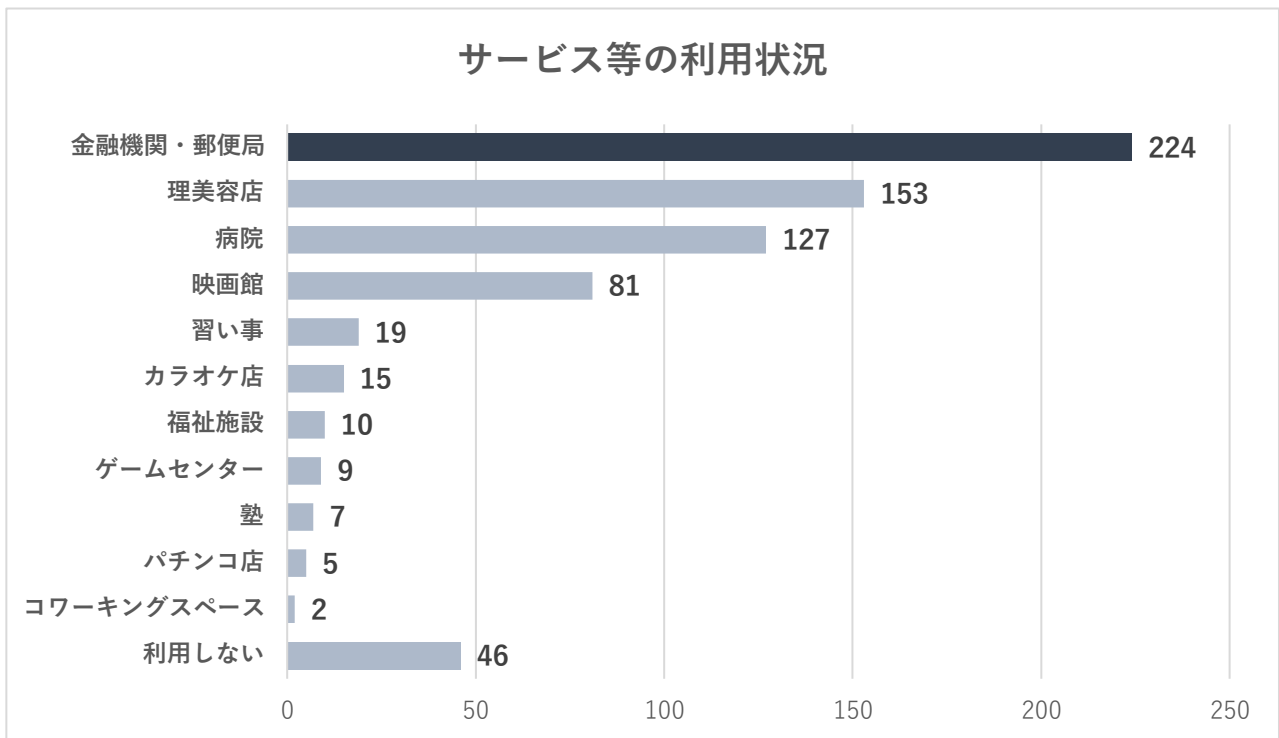
○上記以外の食料品店  
(魚・野菜など)



○物販飲食を全く利用しない方

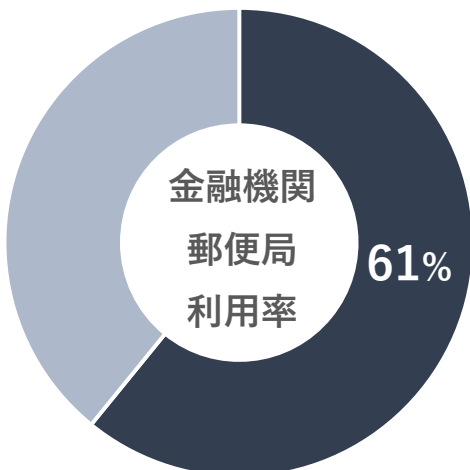


(2)サービス等の利用状況 (n 698)

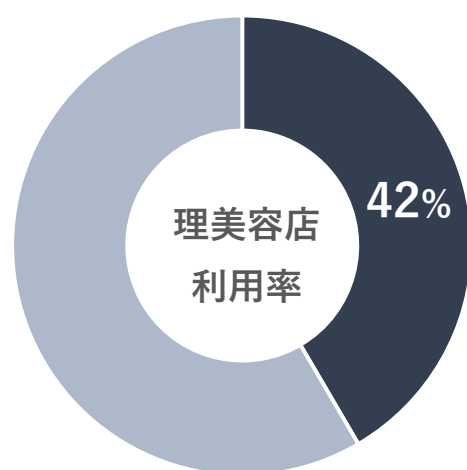


※回答数 n 368 に対する割合

○金融機関・郵便局

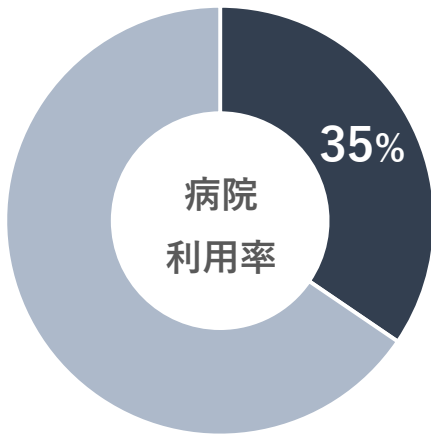


○理美容店

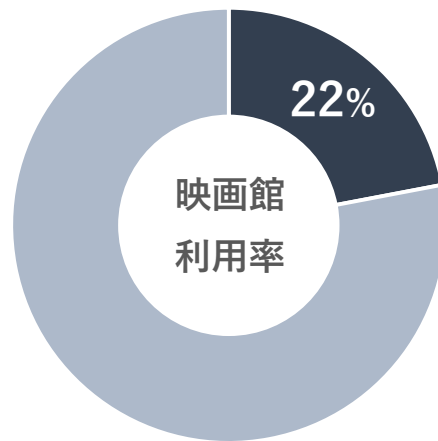




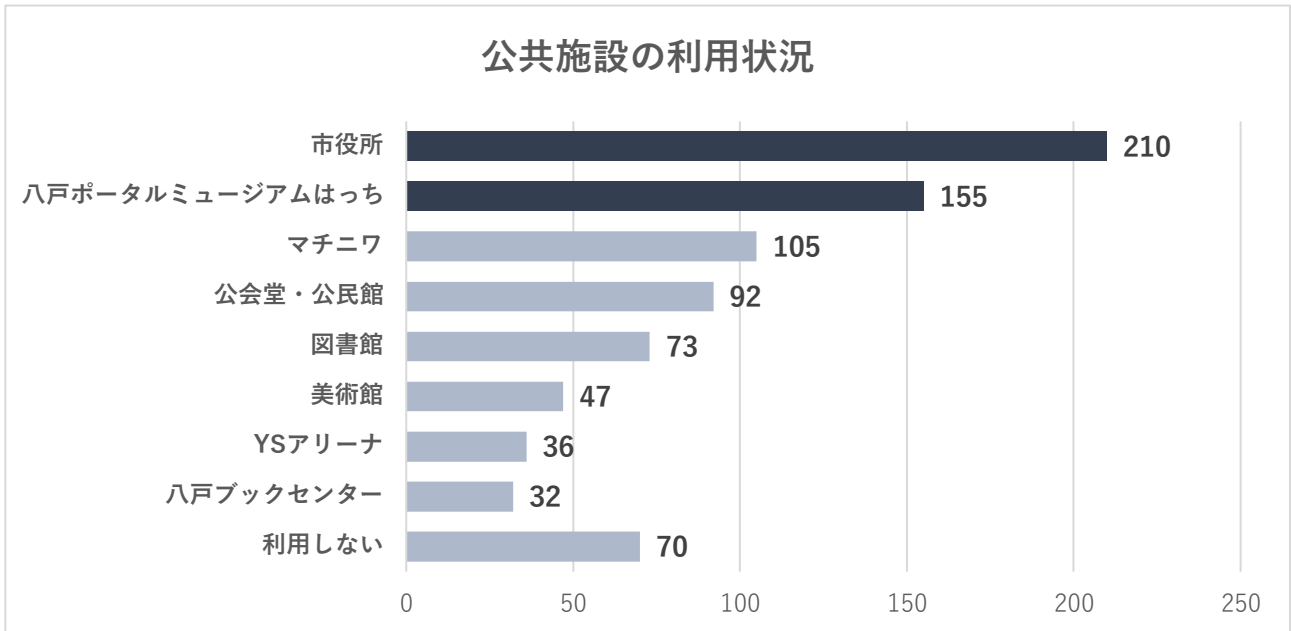
○病院



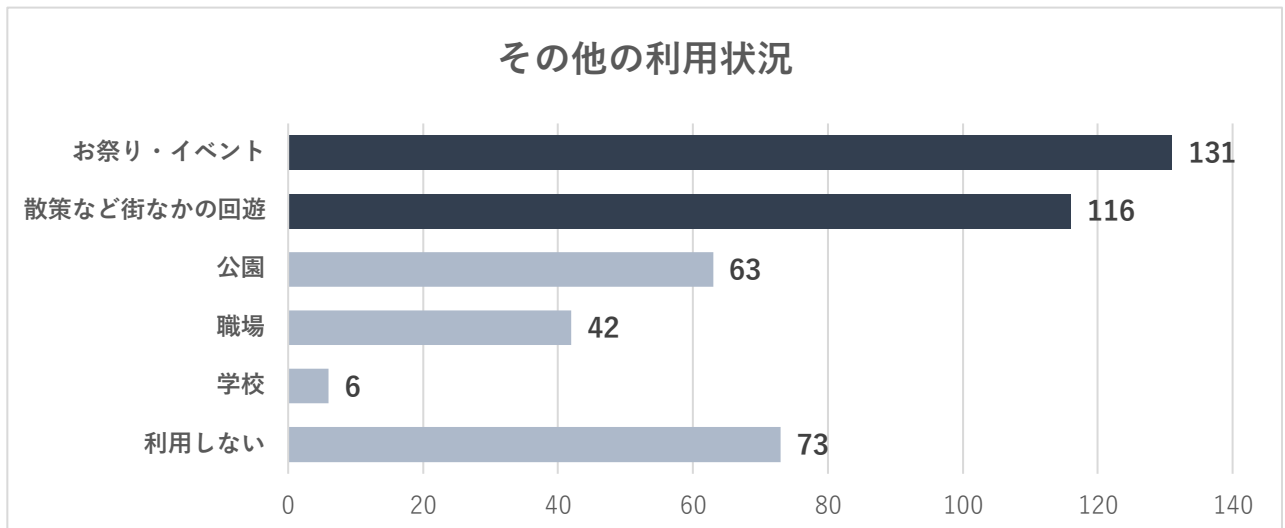
○映画館



### (3)公共施設の利用状況 (n 820)



### (4)その他の利用状況 (n 431)

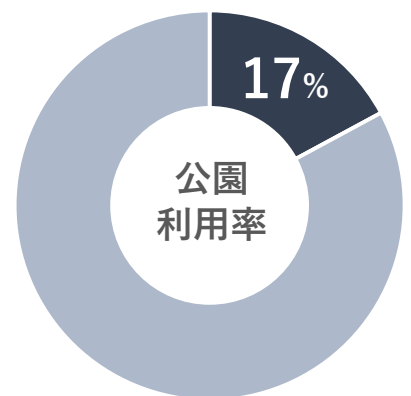
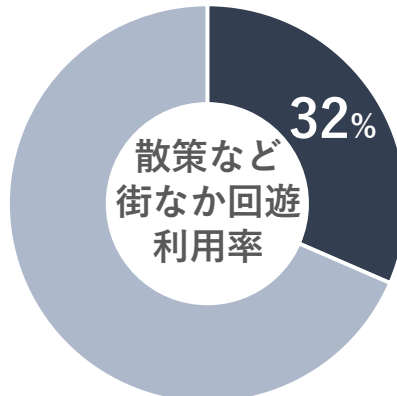
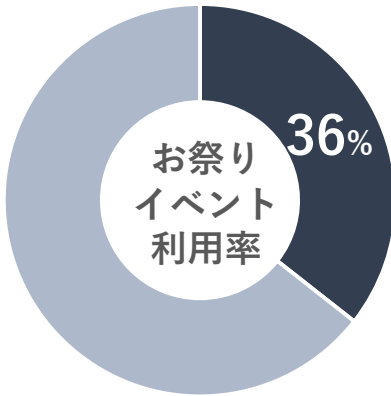


※回答数 n 368 に対する割合

○お祭り・イベント

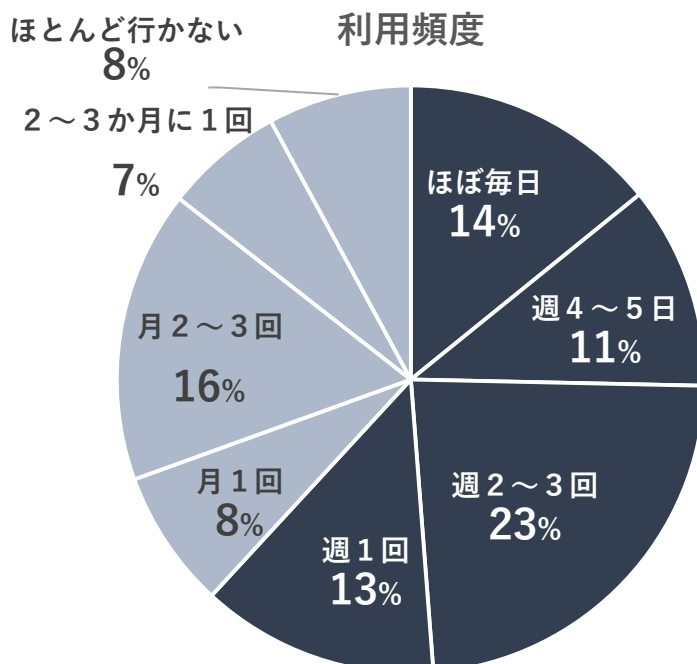
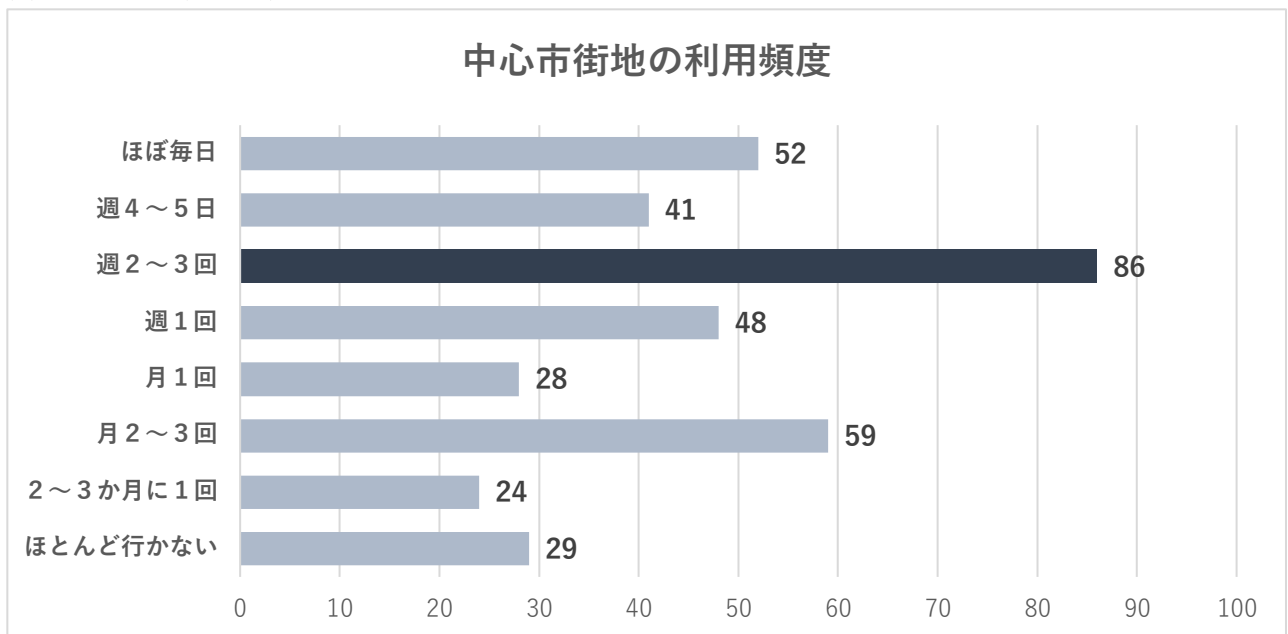
○散策など街なかの回遊

○公園



#### 4. 3で回答した目的地にお出かけになる頻度とその移動手段について

(1)利用頻度 (n 367)



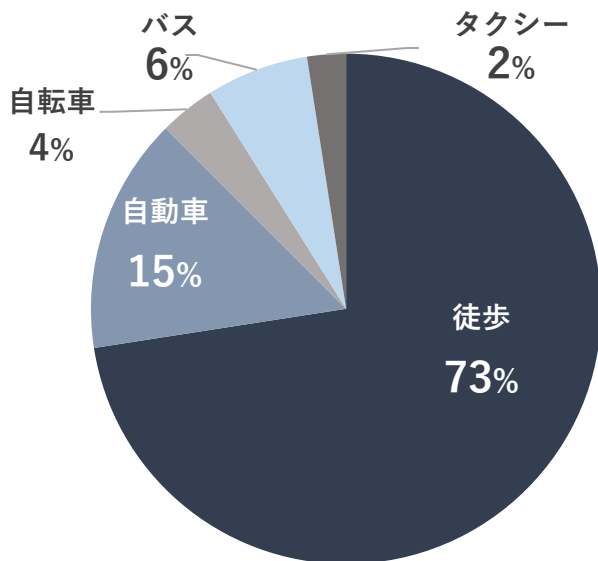
中心市街地を  
週1回以上利用する方

**62%**

ほとんど行かないと回答した  
方の理由

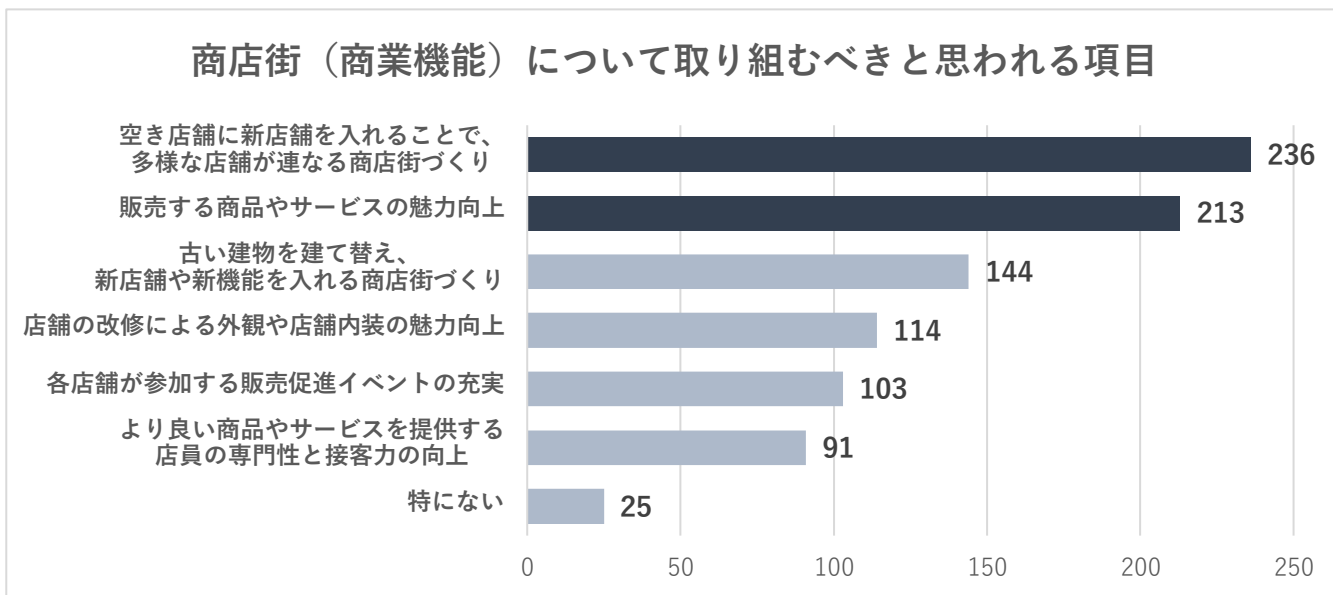
- 行く理由や魅力がない 8
- 歩行困難のため 3
- 無料駐車場や駐輪場がない 2

(2)移動手段 (n 448) ※複数回答可。

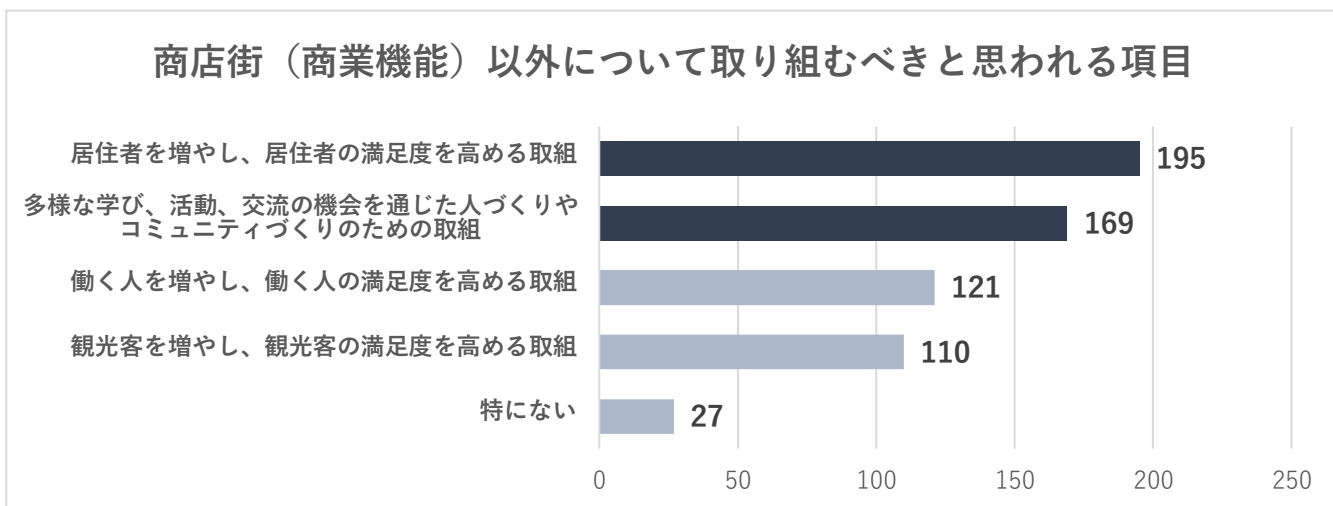


5.これからの中心市街地について ※複数回答可。

(1) 商店街（商業機能）について、今後、商店街を魅力的にしていくために取り組むべきと思われる項目は何ですか。(n 926)

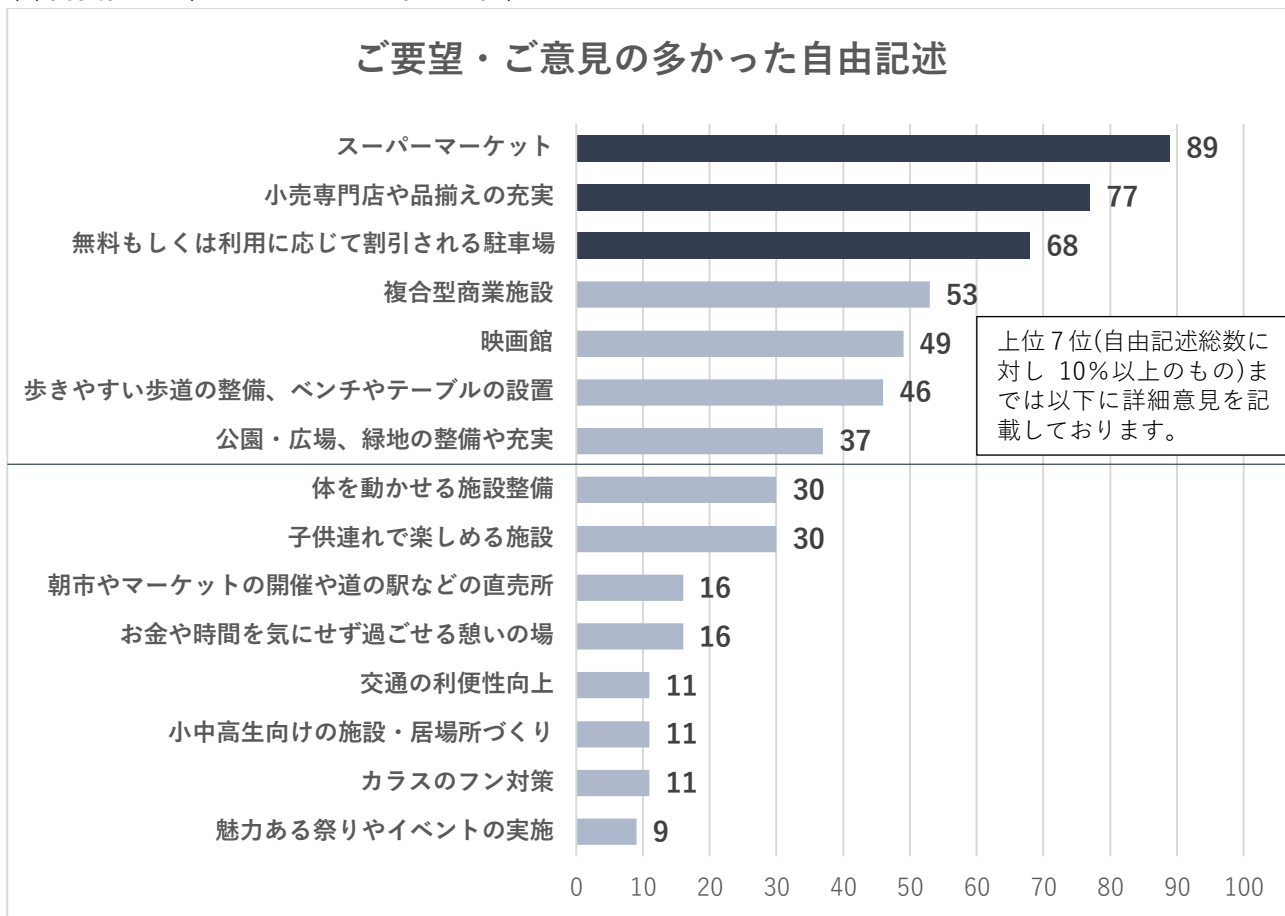


(2)商店街（商業機能）以外について、今後、中心市街地のまちづくりとして取り組むべきと思われる項目は何ですか。(n 622)



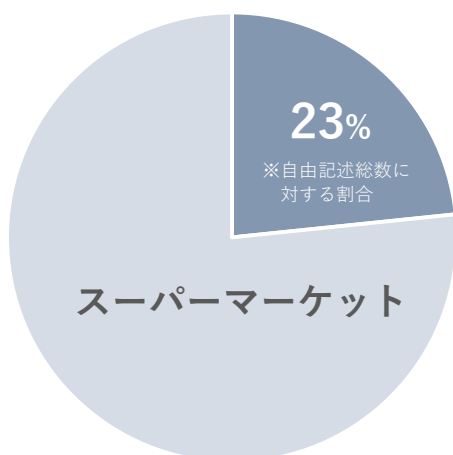
## 6.自由記述まとめ ※ご要望・ご意見の多かった順に掲載しております。

### (1)自由記述（カテゴリー別上位15位）



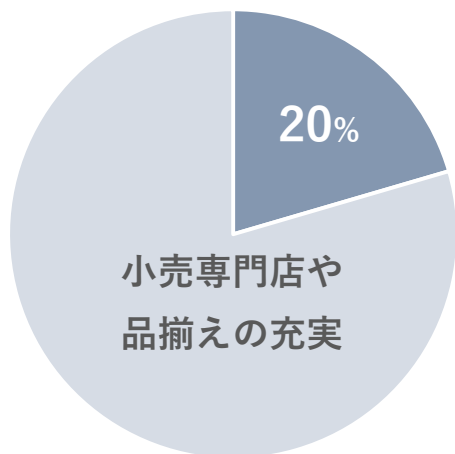
### (2)カテゴリー別

#### ①「スーパーマーケット」に関する主な意見



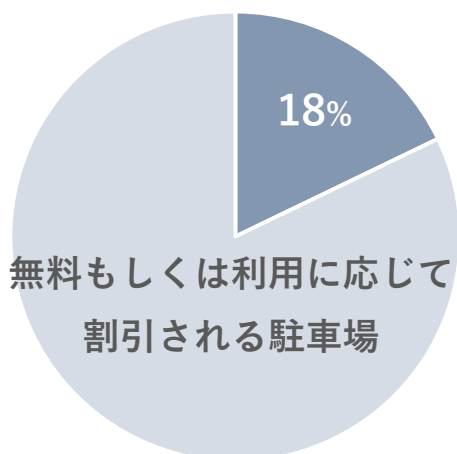
- ・ 徒歩圏内で行けた三春屋がなくなり大変不便
- ・ 今は車で郊外に買物に行くが、免許返納後を考えると不安
- ・ 今ある店舗は選択肢がない上に、高くて品揃えが悪い
- ・ 仕事帰りに買物できる場所がほしい（営業時間が短い）
- ・ 飲食店が必要とする食材が手に入る場所
- ・ 新鮮な野菜や魚が手に入る場所
- ・ 少し高級なスーパーマーケット
- ・ 無農薬野菜など健康志向の食品を販売する店舗
- ・ 無料駐車場を完備したスーパーマーケット
- ・ 輸入食材店

## ② 「小売専門店や品揃えの充実」に関する主な意見



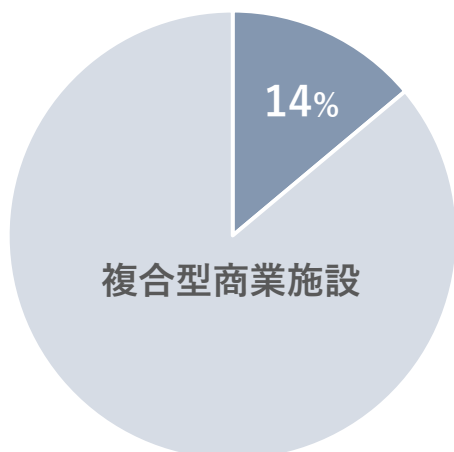
- ・ 地域性の高い地元商品を販売する店舗
- ・ 衣料品店（安価、男性向け、20代向けなど）
- ・ 郊外と営業時間が同等な店舗
- ・ 海産物市場
- ・ 首都圏で流行っている店舗
- ・ ホームセンター、パン屋、靴専門店、雑貨店、スポーツ店、家具店、携帯電話会社ブランド店、電気店、ドラッグストア、本屋、100円均一、ファミリーレストラン、ファストフード

## ③ 「無料もしくは利用に応じて割引される駐車場」に関する主な意見



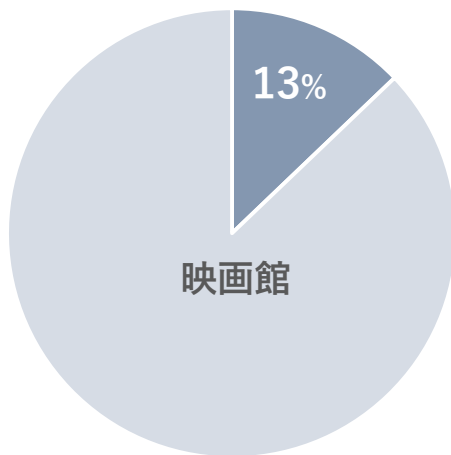
- ・ 無料駐車場
- ・ 駐車料金を気にせず買物や滞在できるまち
- ・ 利用に応じて無料になる駐車場と店舗が一体となった施設
- ・ 安価な料金で駐車できる駐車場

## ④ 「複合型商業施設」に関する主な意見



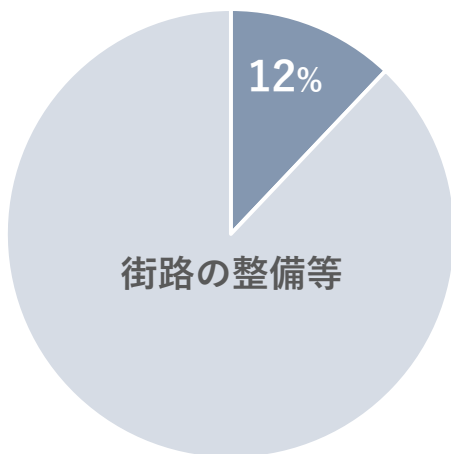
- ・ 家族、若者向けのファッションビル
- ・ 無料駐車場付きのブランド品などが入った百貨店
- ・ 何でも揃う大型ショッピングモール

### ⑤ 「映画館」に関する主な意見



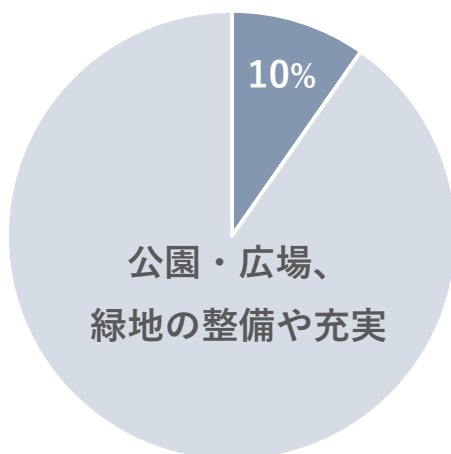
- ・映画館を中心街に残してほしい
- ・まつりんぐ広場をドライブインシアターに
- ・美術館で映画上映を

### ⑥ 「街路の整備等」に関する主な意見



- ・タイルはやめて、冬場も安全な歩道に改修してほしい
- ・景観の良いきれいな街路にしてほしい
- ・高齢者、障がい者でも歩きやすい歩車道の段差のない歩道
- ・斜めの歩道をやめてほしい
- ・自由に歩いたり集う場所として通り全体が機能するよう整備して欲しい
- ・歩道を広くしてほしい
- ・歩道にキッチンカーを配置し、外でランチするなど、歩きたくなる、立ち寄りたくなるまちづくり
- ・高齢者や子供が休める場所（日陰をつくる、樹木やベンチの充実など）が随所にある優しいまち
- ・はっち、マチニワ間の横断歩道の整備
- ・雨や雪の日、寒い日にも出歩けるような設備
- ・自転車が走りやすい道路

### ⑦ 「公園・広場、緑地の整備や充実」に関する主な意見



- ・フットサルなどのイベントを開催できる緑地の整備
- ・子供が遊べる土のある公園
- ・公園に健康運動器具をつけてほしい
- ・三八城公園の遊具の充実
- ・小さくてもいいから居住地近くに毎日行けるような公園
- ・子供を思いっきり走らせることができる公園や広場
- ・草花や植木のある憩いのある空間・緑地
- ・まちなかに芝生公園（セントラルパーク、駒沢公園、札幌大通り公園、宮下パークなど）
- ・植物園

⑩その他の主な意見

カテゴリ	内容	主な意見
公共的スペース	お金や時間を気にせず過ごせる憩いの場	フードコートのように、お茶を飲みながら気兼ねなくゆっくり休んだり話ができる場所がほしい。
利便性向上	朝市やマーケット、道の駅などの直売所	朝市や夕市、マルシェ、産直など、広場などを活用して新鮮で多種多様な品物が生産者から直接購入できれば。
	温泉や公衆浴場、プールの設置	ゆっくりくつろげるまちのお風呂屋さんがほしい。子供が友達同士でも遊べるプールや温泉施設があれば。
景観・環境対策	古い店舗や空き店舗への対策など	古い建物の外観の修景整備。空き店舗への賃料補助や店舗誘致。老朽化したビルは思い切って建て直し、時代に合った店舗づくりに。
	カラスのフン害対策	秋から冬にかけて特にひどい。歩くのが嫌になる。
	店舗前の除雪・清掃	冬場は店舗や施設によって除雪していないところもあり、氷が厚くなって歩行が危険。美術館前の除雪が遅い。秋口からはシャッターが閉まっている店舗前に落ち葉が散らかっているので掃除して欲しい。
	駐停車や路上喫煙の取り締まり	メインストリートなのに、駐停車する車両が多い。停車車両が死角となって人や自転車が飛び出してきたりするので安全面から取り締まってほしい。路上喫煙やバス停での喫煙を禁止してほしい。
子育て文化 教育 福祉関連	小中高生向けの居場所となる施設	小中高生の居場所がない。共働きの親のために夏休みや冬休みに小学生が宿題をしたり、友達と遊べる場所がほしい。
	子供連れで楽しめる施設	冬場や悪天候でも幅広い年代が遊べる施設。小さな子供連れや家族でゆったり過ごせる場所。知・徳・体の調和のとれた子どもを育てるためのイベントや施設。
	体を動かせる施設整備	多年代が天候に影響されず体を動かせる施設。スポーツジムやフットサル場、スケートボード専用施設。ダンスができる場所。
	病院や認可保育園、福祉施設等の充実	小児科、産婦人科、総合病院、認定こども園、高齢者施設を設置してほしい。
	文化、アート、ライブハウスなど	ライブハウスやフェスができる施設、アートワークなどのイベントの実施。
	学校などの教育施設	大学のキャンパスや専門学校などを中心街に誘致・機能移転し、若者を中心街に呼び込んでほしい。
	図書館の建て替えや分室の設置	図書館が古く、南郷まで行っている。建て替えまたはもっと中心街の近くに分室を作ってほしい。
にぎわい	イベント等の効果的な周知	活動イベントなどあるらしいが終わってから知ることが多い。公共施設でイベント開催している情報が分かれば嬉しい。市民大学講座などももっとPRすべき。
	横丁文化の充実や食の魅力発信	昭和の面影が残る横丁などの路地は貴重な観光資源であり中心街の財産。維持、支援、充実させてほしい。食の魅力をもっと発信し、地域の特産品を長期に渡ってプロモーションする必要がある。
	公共的広場の有効活用	まつりめぐ広場の活用がなされていない。市役所、美術館の空地利用は今後も進めてほしい。
	祭り関連施設の整備	三社大祭も青森市の「ねぶたの家フ・ラッセ」や五所川原市の「立佞武多の館」のような施設があれば。
交通	交通の更なる利便性向上	歩道と車道と分離した自転車通行ゾーンの設置。バス停の待合室の設置。誰でも利用しやすい案内表示やアプリ、ノンステップバスの増車など。

## 7. アンケート全体まとめ（居住者分）

### 【食料品の買物環境】

食料品の買物環境については、63%の方が不便・不足を感じており、その主な理由は、徒歩圏内にスーパーマーケットがなくなったことによるもので、令和4年4月の三春屋閉店の影響が大きいことが伺える結果となった。また、既存店舗では品揃えが悪く価格も高いため、郊外に買物に行っているという方も多く見られた。

### 【洋服の買物環境】

洋服の買物環境については、中心市街地で購入されている方の割合は34%で、また、43%の方が、不便・不足を感じている。その理由として、「店舗数が少ない」、「欲しい価格帯のものが無い」などが挙げられていた。

### 【物販・飲食等の利用状況】

中心市街地での物販・飲食等の利用状況については、「コンビニ」の利用率が57%と最も高く、次いで「さくら野」も54%の方が利用していると回答した。他の小売店や食料品店の利用率は約2割程度にとどまった。

### 【サービス等の利用状況】

サービス等の利用状況については、「金融機関・郵便局」が61%、「理美容店」が42%と高かった。

### 【公共施設の利用状況】

公共施設の利用状況については、「市役所」が57%、「八戸ポータルミュージアムはっち」が42%と高かった。

### 【その他の利用状況】

その他の利用状況については、「お祭り・イベント」が36%、「散策など街なかの回遊」が32%と高かった。

### 【出かける頻度と移動手段】

中心市街地に出かける頻度については、「週2～3回利用する」と回答した方の割合が23%と最も高く、週1回以上利用すると回答していた方は62%に及んだ。移動手段としては、「徒歩」が73%を占めていた。また、「ほとんど行かない」と回答した方の中には、「行く理由や魅力がない」と回答する方が多く見られた。

### 【これからの中心市街地について取り組むべき項目】

商店街（商業機能）で取り組むべき項目については、「空き店舗に新店舗を入れることで、多様な店舗が連なる商店街づくり」が最も多く、次に「販売する商品やサービスの魅力向上」が多かった。

商店街（商業機能）以外で取り組むべき項目については、集合住宅の整備や、誰もが歩きやすい歩道、過ごしやすい公園・広場の充実などを例とした「居住者を増やし、居住者の満足度を高める取組」へ期待する回答が最も多く、次に、公共施設での文化・スポーツ活動や、マチニワ等のイベントでの交流機会の充実などを例とした「多様な学び、活動、交流機会を通じた人づくりやコミュニティづくりのための取組」が多かった。

### 【自由記述】

要望・意見が多かった自由記述は、自由記述総数に占める割合が10%以上の項目では、1位「スーパーマーケット」、2位「小売専門店や品揃えの充実」、3位「無料もしくは利用に応じて割引される駐車場」、4位「複合型商業施設」、5位「映画館」、6位「歩きやすい歩道の整備、ベンチやテーブルの設置」、7位「公園・広場、緑地の整備や充実」となった。